

# 新婦人しんぶん

## 新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

## 今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会
- 3面 読者のページ/まんが/乱楽パズル
- 4面 NGO 日本女性大会/はたらくコラム/ホットライン
- 6面 食事
- 7面 新婦人のページ/談話/母の歴史



東京・江川区 山口淳

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

## 長崎県での相談・外来・検査の体制



# 新型コロナウイルス感染第3波 インフルエンザと同時流行 対策急いで



エスディージェー ス SDGs 持続可能な開発目標



ドライブスルー方式でPCR検査をする本田医師(右)

心配していた新型コロナウイルス感染第3波が到来。インフルエンザとの同時流行に備え、必要とする人が、いつでも、どこでも相談・検査・治療できる体制づくりが急がれます。国に先駆けたとりくみをすすめる長崎県。同県保険医協会会長の本田孝也医師に聞きました。

◆長崎方式とは？ 新体制では、まずかかりつけ医など最寄りの診療所に電話で相談。相談先に迷う人は新設の「受診・相談センター」に連絡し、「診療・検査医療機関」を紹介してもらう。さらに県は、救急・輪番病院の新規入院患者全員のPCR検査、介護施設や障害者施設、精神科医療機関に入所・入院前の検査を県独自で実施。県指定の「診療・検査医療機関」は246カ所(11月10日現在)となったが、さらに拡充をめざしている。

## 読者のみなさんへ 会員のみなさんへ

2021年1月からの新婦人しんぶん  
発行曜日変更についてのお知らせ

新婦人しんぶんをご愛読いただき、ありがとうございます。日頃のご協力に感謝申し上げます。新婦人しんぶんは創刊以来、発行曜日を木曜日としてきましたが、2021年1月より土曜日に変更いたします。

新婦人しんぶんは、全国6つの工場毎週土曜日に印刷され、月曜日までに新婦人支部事務所などに届けられ、会員をはじめ、多くの方の協力で配達されています。近年、月曜日の祝日が増え、木曜日までの配達の手立てをとる日数が短くなる状況が生まれています。また、働く人が平日に配達する負担が増えています。

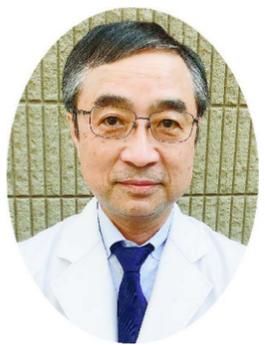
今回の変更は次世代や働く人などより多くの方が無理なく配達できるよう、配達に余裕を持たせるためのものです。印刷曜日や支部事務所などに新婦人しんぶんが届く曜日は変わりませんので、早めにお届けする努力を続けます。班で配達・集金活動への参加をを広げる話し合いの機会にできればと考えます。

読者のみなさんと会員のみなさんにご理解をいただき、引き続きご協力をお願い申し上げます。

2020年10月20日 新日本婦人の会第179回中央委員会

## 新しい相談・検査体制スタート

長崎県保険医協会会長 本田孝也 医師に聞く



「全国に先駆けたとりくみが始まっていますね。発熱などの症状がある、あるいは無症状でも感染の心配のある人が、相談・検査できる医療機関にスムーズにたどりつけないのは全国的な問題です。長崎ではかかりつけ医が電話で相談にのるほか、相談先に迷う人が、「受診・相談センター」(土日祝日も含め24時間)に電話すると医療機関を紹介されるという体制が、11月3日からようやく始まったところ(左上・図)。全国に先駆けて医師会主導でPCR検査体制を構築したことで注目されたように思います。無料でPCR検査を受けると2〜3万円の負担になりますが、指定の医療機関で検査を受けた場合、公費でまかなわれるため、受診者の負担は約2000円です。発熱がなくても「数日前に都会から来た人と会食してなどなくだるい」など思い当たることのある場合は公費対象になります。先生の診療所でもPCR検査を... 保健所ではまかないき

制が、11月3日からようやく始まったところ(左上・図)。全国に先駆けて医師会主導でPCR検査体制を構築したことで注目されたように思います。無料でPCR検査を受けると2〜3万円の負担になりますが、指定の医療機関で検査を受けた場合、公費でまかなわれるため、受診者の負担は約2000円です。発熱がなくても「数日前に都会から来た人と会食してなどなくだるい」など思い当たることのある場合は公費対象になります。先生の診療所でもPCR検査を... 保健所ではまかないき

「発熱外来」です。長崎の場合は、県医師会と県で集合契約を結び、長崎大学などと連携し、県の指定を受けたかかりつけ医のところで唾液によるPCR検査を受けられるようすすめています。県内の検査の2割くらいがこのシステムを使っています。当院の場合、発熱外来は、午前と午後の1時間ずつに限って患者を受け入れていきます。昨日も、薬で様子をみていたが、発熱があり心配と「受診・相談センター」の紹介で来院された方がいました。

〈2面へ〉

